

第39回愛媛県中学軟式野球選手権大会開催要項

1. 目的 軟式野球に親しむ青少年に夢と憧れを与え、また軟式野球を通じて愛媛県における中学生スポーツの振興と競技力向上を図るとともに、青少年の健全な育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 一般社団法人愛媛県軟式野球連盟
3. 協賛 ナガセケンコー株式会社
3. 主管 松山市軟式野球連盟
4. 後援 愛媛県・愛媛県教育委員会・松山市・松山市教育委員会・公益財団法人愛媛県スポーツ協会・愛媛県中学校体育連盟
5. 協力 松山市内中学校
6. 会期 令和6年8月17日（土）～19日（月） 3日間（雨天順延）
7. 会場 坊っちゃんスタジアム・マドンナスタジアム
8. 出場資格 ① 愛媛県内の中学校に在籍する生徒によって編成された愛媛県軟式野球連盟登録チームとし、支部の代表として推薦されたチームとする。
② 登録選手は25名以内とする。
③ 硬式ボールを使用している団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
9. 出場チーム 愛媛県下、各地区の代表16チームとする。

支部名	四国中央		新居浜		西条		今治		計
代表数	1		1		1		2		
支部名	松山	大洲	八幡浜	宇和島・南宇和				16	
代表数	6	2	1	2					

10. 参加料 15,000円（大会第1日目の受付時に納入のこと。）
11. 競技方式 2024年公認野球規則及び、別記の大会運営規定による。
競技方法
12. 使用球 全日本軟式野球連盟公認 ケンコーM号球
13. 表彰 ① 優勝チームには賞状、優勝旗、優勝楯、副賞を授与する。
② 準優勝チームには賞状、準優勝楯、副賞を授与する。
③ 優勝旗は持ち回りとし、翌年の大会で返還する。

14. 参加申込み 出場資格を得たチームは所定の申込書を7月30日（火）迄に必着するよう下記あてに送付すること。
プログラム掲載用のチーム集合写真（裏面へ学校名を記載）を同封のこと。
（問い合わせ及び送付先）

〒790-0845 松山市道後今市 6-18
松山市軟式野球連盟事務局
TEL 089-995-8955 FAX 089-995-8966
E.mail:mrbb@crest.ocn.ne.jp
<http://www.mrbb.net>

15. 組合せ抽選 7月30日（火）午後7時から愛媛県軟式野球連盟松山支部において、主催者役員立ち会いのもと責任抽選を行う。
16. 監督・主将 監督・主将会議は、8月17日（土）午前7時30分から坊っちゃんスタジアム第5会議室で行う。出場チームの監督及び、主将が出席のこと。
17. 開会式 大会第一日目の午前8時20分より坊っちゃんスタジアムにて行うので、参加チームは全員出席すること。
18. その他 ① チームの責任は引率者（代表者または責任者）において一切負うものとする。
② 大会参加の際、健康保健組合員証又は共済組合員証等、その他これに準ずるものを必ず持参すること。
③ 大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すが、それ以外の責任は負わない。
④ 登録選手の変更は、原則として認めない。

大会運営規定

1. 各チームとも試合開始 30 分前までに集合すること。
2. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
3. 試合中ベンチへ入ることのできる人員を次の通り制限する。
責任者、監督、コーチ 2 名以内、登録選手、マネージャー、スコアラーの 31 名以内とするが、本大会に限り熱中症対策として、上記以外に選手の水分補給を目的にチーム関係者（男女を問わないが成人であること。） 2 名のベンチ入りを認める。
但し、応援に係わる行為は禁止とし、応援行為を行った場合はベンチから除く。
4. 試合前のシートノックは 5 分以内とし、ノッカーは必ずユニフォームを着用すること。尚、大会運営上シートノックを行わないで試合をすることがある。
5. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。但し、天然芝上では行わないこと。
6. 試合回数は全試合トーナメント方式 7 回戦とし、5 回以降、得点差、降雨、日没のコールドゲームを適用する。
7. 1 回戦のみ開始から 100 分を経過後は新しいイニングへ入らないものとし、時間切れ同点の場合はタイブレークとする。
8. 規定の 7 イニングを終了、または時間切れ同点の場合はタイブレークとする。
{*タイブレーク}
継続打順の無死一、二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者とする。
9. 同一日における投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
 - (1) 同一日投手が投球できるイニング数を 100 球以内とする。
但し、投球中 100 球に達した場合は、その打者の完了か攻守交代まで投球できる。
 - (2) 同一日に 2 試合を行う場合、第一試合の勝者はメンバー表を交換の際、大会本部で投手の球数を確認すること。
10. 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球 M 号とする。
11. メンバー表は 6 部提出し、前の試合の 4 回終了後、大会本部にて交換する。
12. 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット（スロートガード付き）・プロテクター・レガーズ、ファウルカップを必ず着用すること。
13. 上記及び金属バット、捕手用マスクはスロートガード付きのものを使用すること。
14. 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム（背番号 0 番から 99 番までとし、監督 30 番、コーチ 29 番、28 番、主将 10 番）を着用すること。
15. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
16. 試合に勝ち残ったチームは、大会本部で次の日程を確認しておくこと。
17. 本規定に定めていない事項、は、全日本軟式野球連盟の定める規定、規則による。